



令和6年度 長崎市立三重中学校

令和 6 年 12 月 12 日

学校だより

わくわくする学校

文責

合言葉「考えて行動する」

長崎市立三重中学校

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/mie-j/>

校長 田添 俊和

人権学習 “個性を認め合おう ～笑顔あふれる三重中へ～”

総合的な学習の時間や道徳の授業、人権週間の活動などを通じて、生徒たちは人権の大切さを学び、自己の言動を振り返り、身近な差別やいじめ問題に目を向ける力を養っています。仲間と協力し、互いを尊重し合う態度を育み、思いやりのある心を持つ生徒の育成を目指しています。

特に、長崎市人権教育研究会の講師による講話では、生徒たちの積極的な参加を引き出し、自己理解を深め、仲間との関わり方を考える良い機会となりました。

また、1年生の手話講座、2年生のアイマスクやポッチャ体験、認知症に関する講話、そして3年生の現代における差別問題に関する発表など、多様な取組も行っています。

これらの活動を通して、生徒たちはそれぞれの立場の人の気持ちに共感し、多様性を尊重する心を育てていけたらと考えています。

三重中学校人権宣言文

私たちは、個性を認め合おう～笑顔あふれる三重中へ～をスローガンに、2学期から人権について学んできました。1・2年生は、手話講座やアイマスク体験を通して、目や耳が不自由な方の思いを知ることができました。3年生は、SNSによる人権侵害や高齢者の人権など、世界や日本の人権問題について学習を深めました。今、三重中学校では、いじめやからかいをしている人が、残念ながらゼロではありません。学校が楽しくないと答えた人もいました。私たち人権実行委員会は、アンケートでみなさんが伝えてくれた、人権を守っていくために心がけたいことをみんなで共有し、みんなが安心して登校できるために以下の目標を提案します。

◎誰もが学年、性別、出身、身体などの理由で暴力を受けたり、差別されたりして心身を傷つけられることはあってはなりません。そのため三重中学校では、一人ひとりの個性や思いを尊重し、互いを認め合います。

◎誰もがいじめの苦しさを抱えたまま生活することはありません。自分のものをとられたり、壊されたり、いたずらされるようなことがあってはなりません。そのため三重中学校では、からかいやいじめをなくすため、正しい判断、正しい行動、正しい言葉遣いをします。

◎誰もがみな平等に公平に授業を受ける、学ぶ権利があります。そのため三重中学校では、授業の妨げになるようなことはしないようにします。

私たちは、この目標を心に刻み、いじめや差別のないみんなにとって楽しい三重中学校にしていくことをここに宣言します。

2024年 12月6日 長崎市立三重中学校人権実行委員会

福州市第十九中学（中国 福州市）との交流について

長崎市と中国・福州市は、45年にわたり友好都市として交流を続けています。本校も令和2年から福州第十九中学校の交流を行い、国際理解を深める貴重な機会を得ています。コロナ禍においても、オンライン交流などを通じて、両校の生徒たちは互いの文化を学び、交流を深めてきました。

この度、長崎市から来年の8月に、本校の生徒を福州市に派遣し、現地の生徒たちとさらに交流を深めるための提案がありました。異文化を体験し、国際感覚を養うとともに、将来、国際社会で活躍するための礎を築くことができます。

派遣に際しては、安全面に十分配慮し、万全の体制を整えて実施したいとのことです。

本日、生徒派遣に関する意向調査を1、2年生に配付しましたので、ご家庭でよくご検討の上、ご回答をお願いいたします。**回答締切は、12月17日(火)です。**